

水道水の水源について

Q 地下水100%の水道水の維持を求め、8,000人以上の署名とともに要望書を提出しました。多くの署名を提出しても、市議会における市長の答弁では、ダムの水を導入するという方針は変わらないように聞こえました。市の考え方を今一度お答えください。

A 水道の管理者として、想定外も想定し、市民のライフラインである水道を守らなければならない責務をもっています。地下水1系統だけではなく、地下水から人体に悪影響を及ぼす成分が検出されている昨今、万全を期すため表流水からの取水権利を確保し2系統とする検討をしたいと考えています。思川開発事業による水道水供給は県が実施主体であるため、県からの条件などの提示があった時点で具体的な検討や説明をさせていただければと考えています。

公営住宅について

Q 若者に住み続けてもらい、人口を増やすための市営住宅の建設や県営住宅の誘致など公営住宅の整備方針についてお聞きしたい。

A 市営住宅は国分寺地区に4戸、県営住宅はグリーントウン内に整備されています。現時点では新たな公営住宅の整備計画はありませんので、状況分析し検討してまいります。市は、定住に向けた政策として、空き家バンクのほか、東京圏（東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県）から転入し、住宅を新築された方への補助や市の保留地を購入された方への補助制度などを設け定住促進を図っております。

下野薬師寺について

下野薬師寺について、理解を深めていただくためのお願いと提案をさせていただきます。

下野薬師寺は日本で最初にできたお寺である飛鳥寺に劣らない規模のお寺で、私は関西出身

だが、ここに薬師寺があったということは驚きだった。これは、下毛野朝臣古麻呂という人物の存在が大きく、これから歴史が解明されて、全国へ発信してお客さんがどんどん来られると思っていた。しかし、合併して市となり10数年が経つが、あまり変わってないと思う。東の飛鳥プロジェクトについて説明があったが、このプロジェクトを先導していくのは薬師寺だと思う。地域ブランドとして県と一緒に盛り上げていただきたい。

災害避難者の受入れについて

Q もし茨城県の原発に事故があり避難が必要な場合、市では避難者を受け入れると聞いている。福島からの避難者に意見を聞き、より良い避難者の受け入れ計画を策定していただきたい。

A 災害時の備品等の整備を含め、今後の計画の中で検討していきます。

自治医大病院の利用について

Q 以前のように自治医科大学附属病院で自由に受診できるよう開放していただけないか。

A 自治医科大学附属病院は、三次医療機関として、高度医療を提供する使命を果たしており、石橋総合病院や小金井中央病院などが二次医療機関となっています。病院ごとに役割分担がありますので、軽い病気やけがなどでの自治医大病院への突発的な利用はご遠慮いただき、最寄りの病院をご利用いただくようお願いいたします。

また、夜間休日診療については、本市への設置を希望しておりますが、小山地区において広域で行っているため、医師会などと協議しながら設置について検討してまいります。

平地林の伐採について

Q 市内の貴重な平地林が少なくなっていますが、大松山運動公園の改修で林が伐採されてしまいました。石橋図書館の周辺あたりも残してほしい。森林は地下水涵養の機能が高い。

A 今後、公共施設整備の際には平地林の大切さを考え、計画策定をしていきたいと思っております。

小金井一里塚について

Q 小金井一里塚の木から、毎年落ち葉がトラック三杯分くらい落ち、また、樹木が倒れたときは近隣の民家に被害が及ぶと思います。一里塚の管理計画はどのようなになっているのか。

A 現場を確認させていただいき、対応方法について検討させていただきます。

確認の結果、落葉の季節は定期的に清掃をおこない、樹木の剪定については、平成31年度予算で実施の予定です。

市長といきいきランチトーク 随時受付中！

まちづくりについて、市長とランチを食べながら気軽に話し合いませんか？

家庭の食卓ですのような話、そんな話をお聞かせください。まちづくりについて話し合い市政への理解を深めてもらうことを目的に、市民または市内に通勤・通学している大学生以上の5~10人の団体やグループを対象に実施しています。

■問い合わせ先

総合政策課 ☎(32)8886